

「学校に対話を！」研修&実践報告会
2024年3月20日(祝水)

RJ対話サークル 大阪からの実践報告

— 安心して感情を分かち合う体験を、まず大人から —



小川恵美子 (TIRP研究会)

自己紹介

仕事

精神保健福祉士
スクールソーシャルワーカー
児童虐待・子どもの悩み相談員/犯罪被害者相談員

研究

大阪大学大学院人間科学研究科教育心理学分野
博士後期課程/日本学術振興会特別研究員
研究テーマ: **トラウマインフォームドケア**、**支援者支援**
支援者ピアサポートグループ「とらえん」運営

RJとの 関わり

- ・犯罪心理学の授業で「修復的正義」と出会う
- ・National Center for Restorative Justice研修
- ・NPO修復的対話の会キーパー養成講座
- ・トラウマインフォームドケア+修復的実践:**TIPR研究会**
- ・小学校で**RJ対話サークル「ぐるぐるトーク」**実践

内 容

メンタルヘルスの視点から見たRJ対話サークルの意義

トラウマインフォームドケアと修復的実践

実践報告①：学校外での取り組み

実践報告②：学校内での取り組み

まとめ、今後の展望

1. メンタルヘルスの視点から見たRJ対話サークルの意義 学校でストレス/トラウマになりうる体験

特別なこと： いじめ、暴力事件、事故、自死…

日常的に起きること： もめごと、いざこざ、威圧的指導…

■物事

叱責、指導、お裁きにより、その場は治まる

■感情

不快な感情（怒り、ショック、悲しみ、不安、恥、恐怖等が混ざった複雑な気持ち等）が残ることもある

対人不安が生じ、行き渋り、不登校に発展することも…

トラウマ： **自分の持っている資源だけでは回復しない心のケガ**
人によって衝撃の受け方、現れ方、回復の時間や道のりが違う

ストレスとトラウマ

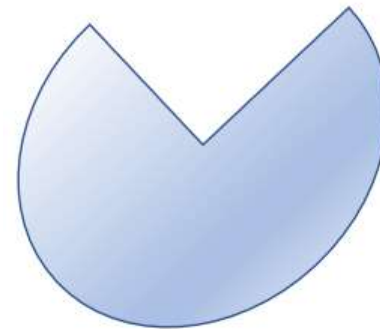
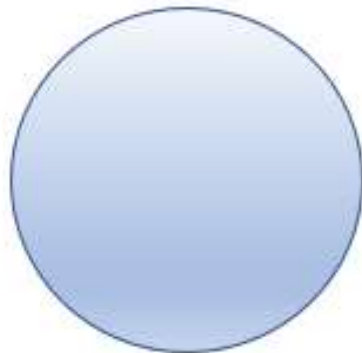
回復のしやすさを決める要因

体験そのものの大きさ

体験時の年齢

その体験の前の体験・環境

体験後のケア（**安全の感覚**が得られたか）



トラウマインフォームドケア:TIC

トラウマとなる出来事やその反応、影響について知識を持って、効果が実証された方法で対応していく



知識を持つ

Realize

気づく

Recognize

対応する

Response

再トラウマを
防ぐ

**Resist re-
traumatization**

トラウマインフォームドケアと修復的実践

トラウマインフォームドケア

さらに傷つけない。
どんなことが傷つきに
つながりやすいか、
どうなりやすいか、
どう対処したらいいのか
知っている。

修復的実践

「誰が傷ついたか」、
「何が損なわれたのか」に
焦点をあて、関係者にさらなる
傷つきを生じさせないやり方で
責任を追及する。



修復的実践は、トラウマインフォームドなコミュニティづくりの羅針盤

1. メンタルヘルスの視点から見たRJ対話サークルの意義

安心していただける集団

トラウマインフォームドケア

+

修復的実践

ロールモデル

あり方、居方、たたずまいを自然な形で見せられる人
安心な場とはどういう場なのか、
安心ではない場とはどういう場なのか
体験を通して知っている人
実現可能だと信じられる人

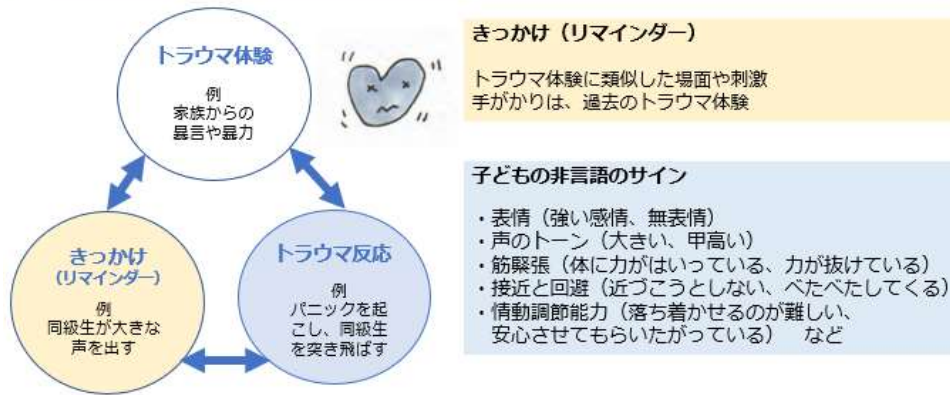
大人に
知って・体験して・実感する場が必要

実践①：学校外での取り組み

「安全に人とつながることを学ぶ時間のつくりかた」

2024年2月3日（土）大阪府茨木市

見えていることは、反応



10

クラスづくり、学校づくりの知恵
—安全に人とつながることを学ぶ時間のつくりかた—

RJ対話サークル (ぐるぐるトーク)



2024年2月3日
トラウマインフォームド修復の実践:TIRP研究会



RJ対話サークルは
学校やクラスの中を
安全なコミュニティにしていくための
手法であり、道具であり、プロセスの
ひとつです

実践①：学校外での取り組み

「安全に人とつながることを学ぶ時間のつくりかた」アンケート結果

■参加数：9名（教職員7名、その他2名） スタッフ数：5名 ■研修時間：3時間

■実践の助けになるものは？

同僚の助け	78% (7名)
練習の機会	67% (6名)
実践している学校の事例	56% (5名)
マニュアル	44% (4名)
管理職の協力	33% (3名)
予算	0% (0名)

■感想例

- 支援級での自立活動の時間に使いたい。
- 安心安全な学校が作っていけると体験を通して感じる事ができました。
- 子どもたちの気になる行動をトラウマの視点で見られるようになりたい。
- 実際4月当初にアイスブレイキングとして取り入れたい。
- 親さんの集まり、職員の集まり、子どもの知り合う段階で活用したい、できると思いました。
- ヤングケアラーのピアサロンで使ってみたい。

実践2：学校内での取り組み

2024年4月～ 大阪府枚方市津田南小学校 (SSWsとして)

1. 情報提供
2. 校内教員研修 RJ対話サークル(初体験)
3. 任意参加の講習会(2回目の体験)
4. 個々の先生方とのコミュニケーション
5. 資料・ぐるぐるトークキットを作成、共有

実践2:学校内での取り組み

2024年4月～ 大阪府枚方市津田南小学校 (SSWsとして)

時期	働きかけ	校長先生の反応	反応へのこちらからの対応
5月	<ul style="list-style-type: none">・校長に修復的実践を紹介・セミナー情報提供・実践の企画書を提出	「理想的だと思うけど、うーん」	「そうですよね…」
6月		(校長から教育委員会へ研修の働きかけ)	
7月	<ul style="list-style-type: none">・教員研修会「修復的正義、RJサークル講習」実施	「先生たちがどう受け取ったかは分からないが、私は純粋に楽しかった」	アンケート結果共有
9月～	<ul style="list-style-type: none">・5、6年担任が始業式にRJサークルを実施。実践風景見学・2回目RJサークル体験会実施	<ul style="list-style-type: none">・授業見学・教員向けの新聞にRJサークルを推奨	ぐるぐるトークキットを作成・共有
1月	<ul style="list-style-type: none">・校外研修の案内	全教職員にチラシ配布了承	
2月	<ul style="list-style-type: none">・実践した教師にアンケート実施		校長・教頭に集計結果を報告
3月	<ul style="list-style-type: none">・「東京で報告していいですか？」・資料等の保存場所を再度お伝え	「学校のQRコード入れてね」	

実践2：学校内での取り組み

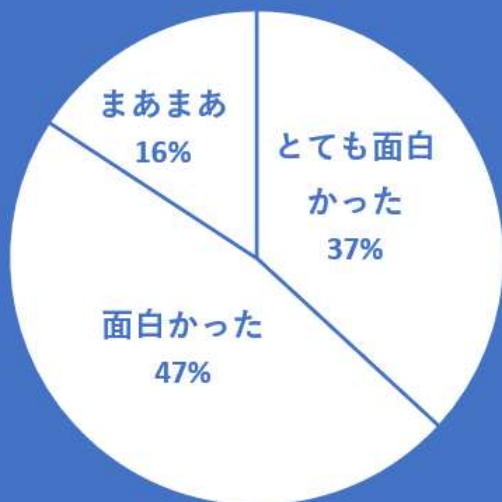
アンケート結果：教職員研修（2023年7月）

■参加者数：約50名 回答者数：19名 ■研修時間：90分

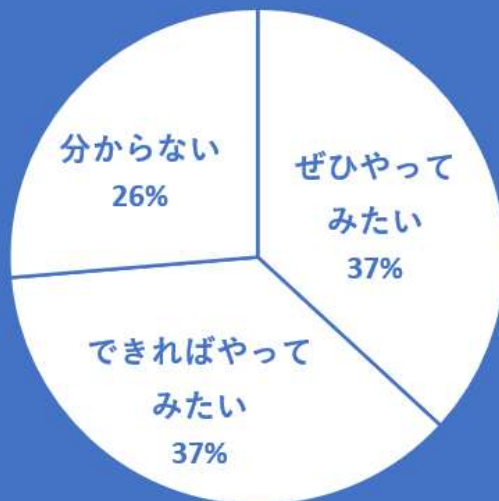
■どんな場面でやれそう？

- ・ 始業式、学級開き、学活、委員会、帰りの会、支援級での自立活動時間

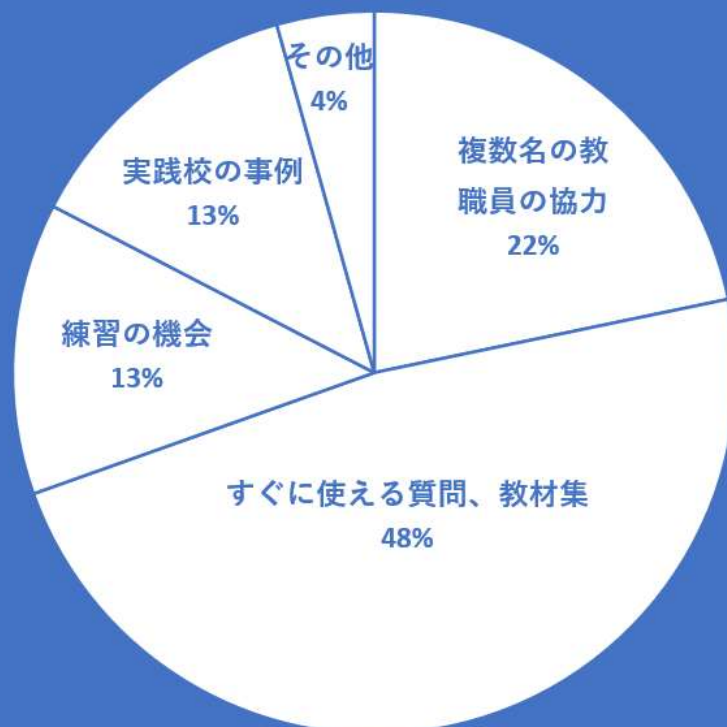
体験はいかがでしたか？



子どもたちとやってみたい？



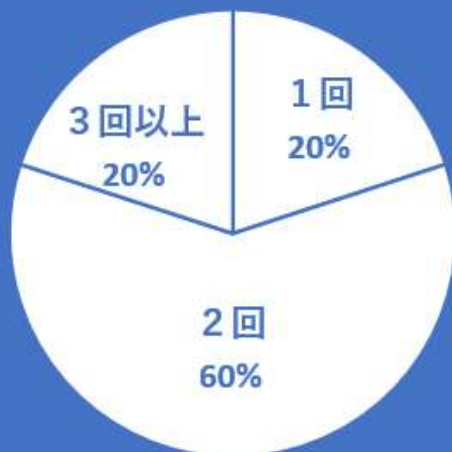
何があると実践の助けになりそう？



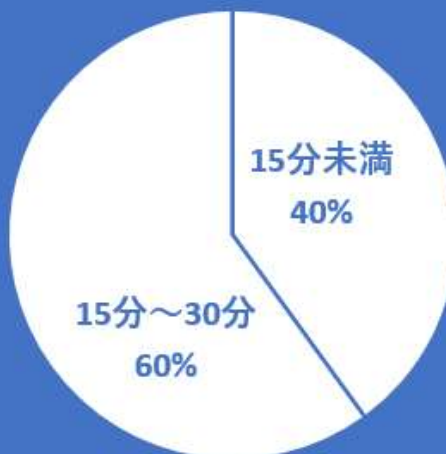
実践2:学校内での取り組み

アンケート結果：実践した教員（2024年2月）

実施回数は？



1回のサークルは何分？



準備に要した時間は？



来年度もやってみたい？



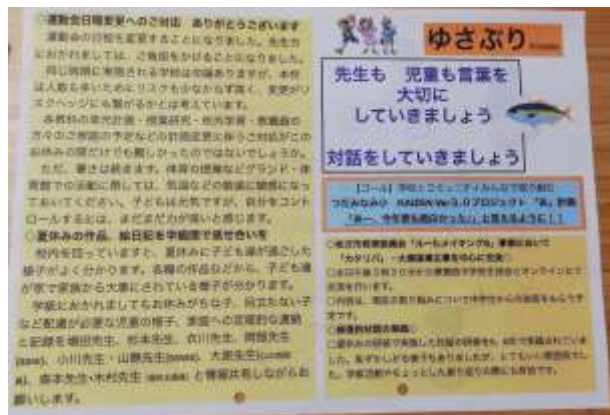
■回答者数:5名

■感想例

- ・ 楽しくできた。学期始めにするのは良い。
- ・ パスもできない子がいる。どうしたらいいのか。
- ・ 1回目よりも2回目の方がよくルールを守って楽しそうだった。
- ・ 「聞く」ということを改めてしている感じがあった。

働きかけ：校長先生→教職員・保護者へ

教職員向け新聞



大阪府枚方市立 津田南小学校 ホームページ



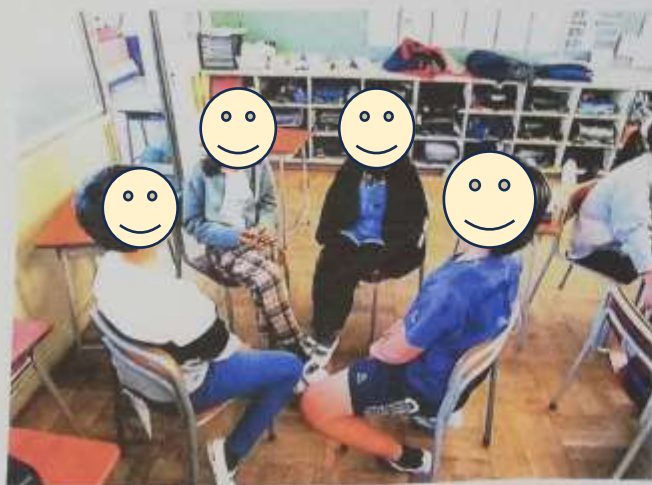
◇修復的対話の実践◇
□夏休みの研修で実施した対話の研修を5、6年で実践されていた。恥ずかしがる様子もありましたが、とてもいい雰囲気でした。学級活動やちょっとした振り返りの際にも有効です。

○最後に学級活動の時間を必ず持ってください。お楽しみ会でもいいですし、この学期を振り返る語り合いでも、夏に研修した修復的対話でも。

●夏に研修した修復的対話から冬休みの様子を学級で取り組んでみてはどうでしょうか。

きます。このような取り組みが協働的な学びの際にも生かされると思います。
□SSW SVの郭先生、SSWsの小川先生に教えて頂いた修復的対話の取り組みを積み重ねる取り組みも、相手の話を相手の話が終わるまで聞くということの積み重ねですから、協働的な学びにも繋がる機会かもしれません。

働きかけ：担任の先生→児童・保護者へ



年明けで距離感をつかみなおす
ため、対話サークルの時間を設け
ました。テーマは「年末年始にあたり
こと、たくさん話をしてください」

＜対話サークルのルール＞

- ★ 話す人以外は声を出さない。
- ★ どんな内容でも否定されない。

↑ 安心して話すための
ルールです。



まとめ

学校内の実践から

- ・ 一斉研修の威力
- ・ 体験後の情報共有が強力な一押しになる
- ・ 「すぐにやれそう!」と思ってもらえたのはいいけれど・・・
- ・ 準備15分
- ・ 欲しい人に欲しいものを、資料類は学校の共有財産に

学校外の実践(TIC+ぐるぐるトーク)から

- ・ 先生方のニーズは体験の質によって変わる

今後の展望

- ・ 学校内の実践で、安全・安心が守られるための施策要検討
- ・ 学校外で、実践者がつながる場(フォローアップ会)実施
- ・ トラウマインフォームドケア+修復的対話体験会を継続実施

非行少年に対するトラウマインフォームドケア 修復的司法の理論と実践

Trauma-Informed Juvenile Justice in the United States

ジュダ・オウドション 著
野坂 祐子 監訳

若者が非行や犯罪に至った背景にあるトラウマに着目し、コミュニティや社会制度におけるトラウマティックな歴史や価値観を見直すトラウマインフォームドな少年司法について概説した最良のテキストであると同時に、広く対人援助職に役立つ実践書。

定価：6,380円(税込)

特別価格：5,000円(税込+送料サービス)

ご希望の方はこちらまで
(2024年3月末迄)

